



ドアなどの建具は、主に青森県産のスギを使用した。

天井、柱、梁を見る「現し」にした。天井が高く、開放的に見える。

黒を基調とした外観。入り口部分はスギを使用した。カーポートの上にはウッドデッキを作った。



HOUSING CASE

02

「あおもりの木」の
魅力を感じられる家

青森市 上野邸

株式会社
稲見建築設計事務所

地元の木を使うことは
環境を守ること

黒を基調としたシックな外観の住宅の中に入ると、多様な「あおもりの木」の魅力を感じられる明るい空間が広がっています。構造体はスギ、ヒバ、アカマツといった、家づくりの定番ともいえる針葉樹。そしてキッチンカウンターや階段などには、サクラ、タモ、センなどの広葉樹を使用しました。天井や柱などの木材を見せる「現し」にし、温かみのある雰囲気になっています。

「使う木がどこから来たのかが分かって、安心感がありますね」。そう話す施主の上野さんの趣味は、山を歩くこと。

1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

そのため、県内の山には多様な樹種の木が育っていることは知っていました。そして、家づくりの素材を考えていくうちに、地元の山の木を使うことで二酸化炭素の排出量を減らすことができ、環境への配慮につながることはもちろん、家族みんなが健康に暮らせると考え、長年住む家に青森県産材を選んだのです。

経年変化で味わいが深まる
無垢材の家

特に無垢材の床は、とても歩き心地が良く、気に入っているそうです。1階はほどよく柔らかいスギ、2階は少し硬めのアカマツにしました。お子さまが床にべたりと座り込んで、楽しそうに遊んで

いるのを見ると、木の家にして本当に良かったと感じるそうです。洗面所やトイレなどの水回りには、腐りにくいヒバを使用しました。ヒバならではの、爽やかな香りが漂っています。

また、この住宅で目を引くのが、カーポートの上に設置した、床にヒバを張った広いウッドデッキ。ここでは家族でバーベキューを楽しんだり、お子さまが走り回って遊んだりしています。

この家を建てて10年以上。時と共に木の色合いに変化が見え、良い具合になじんできています。「無垢材の家は劣化することがありません。傷すらも一種の味わいになると感じています」。上野さんは、そう話してくれました。



ここが
好きです！

ウッドデッキは、家族みんなで楽しめる場所。バーベキューをしたり、子どもが遊んだりしている。

ここで
建てました！



株式会社 稲見建築設計事務所

〒030-0962 青森市佃1-5-7
TEL 017-742-2636 FAX 017-742-2637
http://www.a173.org/

気に入って
います
「地産地消の家」



DATA

家族構成	夫婦+子ども3人
使った青森の木	スギ、アカマツ、ヒバ、タモ、セン、さくらなど
敷地面積	160.92㎡ (48.67坪)
延床面積	135.80㎡ (41.07坪)
工法・構造	木造在来
竣工年月	2010年7月
工務店	株式会社 稲見建築設計事務所